

懐かしいあの頃の歌をハンドベル演奏にのせて！

富士市境地区に2007年8月(平成19年8月)開設した、看護小規模多機能型居宅介護とグループホームを併設した老人福祉施設「2人3脚」(代表取締役・ホーム長:石田友子さん)を訪問させていただきました。

ケアマネジャー・看護師・経営者としての顔を持つ石田友子さんは、利用者様が自分らしさを失うことなく楽しい毎日が過ごせるように、介護スタッフ、看護スタッフと共に家庭的で明るく和やかな雰囲気大切にホーム運営をしています。



[施設全景\(写真提供:2人3脚 様\)](#)



[大野先生\(左\)・石田ホーム長\(右\)](#)

本日の訪問は、音楽療法の一つとして施設に入所・通所している皆さんが大野由貴子先生指導のもと、ハンドベル演奏をしながら童謡・わらべうたを歌い、楽しく過ごすお姿を取材させていただきました。

体を動かしリズムを取りながら歌ったり楽器を演奏したりすることが、脳に刺激を与えリラックス効果を発揮すると言われ、音楽療法を積極的に取り入れることにより、生き生きと豊かな表情となり、認知症の進行を遅らせたり、コミュニケーションを円滑にする効果が得られるため、当施設「2人3脚」では、4名の音楽療法士を積極的に招き、「童謡」や「わらべうた」などの懐かしい歌を歌ったり楽器を使って演奏するなど、利用者様の若いころの楽しい思い出がよみがえるようにしています。



[キーボード演奏の大野先生](#)



[演奏用ハンドベル](#)

指導して下さっている大野由貴子先生は、1999年(平成2年)ハンドベルと出会いアンサンブルの楽しさに魅了され、その後 県内外のチームに参加され研鑽を積み、ハンドベルでは珍しいソロ演奏を得意とし、ピアノ、パイプオルガン、ライアー(竖琴)等のアンサンブルや、ハンドベルCD、ハンドチャイムCDなどの録音に参加され活躍しています。





キーボードに合わせて



会場一体となって

今日、ここに歌いながらハンドベルを奏でている皆さんは、戦後、国の復興に苦勞を惜しまず努力され、日本の經濟成長を担ってこられてきた尊敬する先輩の皆さま方です。  
この先輩の皆さまが、心豊かで笑顔のこぼれる日々を送られ、すこやかに過ごされることをお祈り申し上げますながら、皆さまの奏でたハンドベルの素晴らしい音色を脳裏に焼き付けました。

取材：富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機